

◎信じる、長崎力。

任期最後の質問は今年4日に行われた「予算総括質疑」で25分の持ち時間のなか質疑を行いました。持ち時間が短いため質問は予算・事業面からは「新産業創出の新年度の戦略的展開」を質疑し、残りの時間を「県と市町との連携について」質疑しました。

私の以前からの主張は「県当局は市町との連携がとれているというが十分ではないと認識している。なぜなら成果が数字としてでていないからだ」ということで特にH31年度が最終目標年度である「県まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況」でのその戦略の集大成ともいべき「転出超過数を3割程度改善させる」という目標についてH29年末で目標値の1.7%の実績値しか出ておらず散々であることを指摘しました（以下参照「長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況」）。

① しごとを創り、育てる		H27	H28	H29	H30	H31
●転出超過数を3割程度改善させる (H22-H26:▲25~26千人、 5年平均▲5,194人)	目標値 (累計)	6%程度改善 (1,700人改善)	12%程度改善 (3,400人改善)	18%程度改善 (5,100人改善)	24%程度改善 (6,800人改善)	3割程度改善 (8,500人改善)
	実績値 (累計)	11.9%改善 (3,098人改善)	11.6%改善 (3,026人改善)	1.7%改善 (465人改善)		

正に県当局にしてみたら最も触れてほしくない数字です。人口減少対策が県と各市町の最優先の共通課題として取り組んだ結果が数字ですから…連携が十分でないという私の指摘を否定することはできず今まで消極的であった「連携の見える化」についても初めて「検討する」という答弁ができました。見える化で官民挙げての総力を結集をせねばなりません、悲観することなく「長崎には底力がある」との認識でこの難局を切り拓いていまこそ「信じる、長崎力。」

また委員会審査の質疑では、水産業の分野における外国人就労についても前向きな答弁を引き出せました。

ご案内とお願い

戦いを間近にしてこれまで準備をしてきましたが、下記の通り総決起大会を開催します。

議会中であることもあり、私から出席のお願いが直接できておらず大変苦戦をしております。誠に恐縮ですが何卒お声かけ頂き、多くの方にご参集頂きますようお願い申し上げます。ご出席頂けます方はご返信よろしくお願ひいたします。

【前田哲也 総決起大会】(FAX840-9027 TEL840-9020)

○日 時 平成31年 3月15日(金) 18:30~19:30

○会 場 長崎市民会館文化ホール(魚の町5-1)

ご出席		ご欠席	
貴団体名	ご出席人数	名	
出席者ご氏名(人数のみでも結構です)			